

『Film Analysis 映画分析入門』

第二回 (4/18) 担当：室

○映画における意味：

- ・「映画とは技巧（テクニック）と意味との結婚である」(p6)
- ・「制作者の意図した意味付け」「文脈の次元によって形成される意味」を扱う

意図的な意味づけの例：

『パルプ・フィクション』	1994	クエンティン・タランティーノ	アメリカ	英語
--------------	------	----------------	------	----

アカデミー脚本賞

『シャイニング』	1980	スタンリー・キューブリック	イギリス アメリカ	英語
----------	------	---------------	--------------	----

制作者が意図しない意味の例：

『鳥』	1963	アルフレッド・ヒッチコック		
-----	------	---------------	--	--

テーマや美的観点からの意味づけの例：

『ロード・オブ・ザ・リング』	2001	ピーター・ジャクソン	ニュージーランド、アメリカ	英語
----------------	------	------------	---------------	----

その他の意味づけの例：

『アメリ』	2001	ジャン＝ピエール・ジュネ	フランス	フランス
-------	------	--------------	------	------

カルロヴィ・ヴァリ国際映画グランプリ、セザール作品賞

『アバター』	2009	ジェームズ・キャメロン	アメリカ、イギリス	英語、
--------	------	-------------	-----------	-----

ゴールデングローブ作品賞

現実世界の描き方の例

『無ケーカクの命中男』	2007	ジャド・アパトー	アメリカ	英語
-------------	------	----------	------	----

放送映画批評家協会賞コメディ映画賞、全米脚本家組合賞オリジナル脚本賞

『フィクサー』	2007	トニー・ギルロイ	アメリカ	英語
---------	------	----------	------	----

アカデミー助演女優賞

○技巧

クローズアップの例：

『第三の男』	1949	キャロル・リード	イギリス	英語
--------	------	----------	------	----

アカデミー撮影賞、カンヌ国際映画祭グランプリ

『ゴールド・ディガース 1933』	1933	マーヴィン・ルロイ	アメリカ	英語
----------------------	------	-----------	------	----

ロングショットの例：

『波止場』	1954	エリア・カザン	アメリカ	英語
-------	------	---------	------	----

アカデミー作品賞、ゴールデングローブ賞

『暗殺の森』	1970	ベルナルド・ベルトルッ チ	イタリア フランス 西ドイツ	イタリア 語 フランス 語 ラテン語
--------	------	------------------	----------------------	--------------------------------

技巧による多様な意味の例：

『フィラデルフィア物語』	1940	ジョージ・キューカー	アメリカ	英語
--------------	------	------------	------	----

アカデミー主演男優賞

『十二人の怒れる男』	1957	シドニー・ルメット	アメリカ	英語
------------	------	-----------	------	----

ベルリン国際映画祭金熊賞

○ショットごとの分析

ショットの種類

- | | |
|--------------|----------------|
| 1.構図 | 映像フレーム内での要素の配置 |
| 2.シネマトグラフィー | 映画撮影法 |
| 3.編集 | ショットを組み合わせること |
| 4.アートディレクション | 舞台、衣装などのデザイン |
| 5.語り | ストーリーの語られ方 |
| 6.スタイル | その映画特有の方法の事 |

スタイルの例

『我等の生涯の最良の年』	1946	ウィリアム・ワイラー	アメリカ	映画
--------------	------	------------	------	----

アカデミー作品賞

- ・階級の差を、人物の配置やカメラの位置などから描いている。

○映画を書く：アクティブ・ビューイングの技法

批評のポイント

- ・映画テキストから距離を置くこと
- ・最低二回見ること
 - 一回目…観客の目線
 - 二回目…作り手の目線
- ・なぜ作り手は特定の手法を使ったのか考える
- ・映画を見乍ら、書く練習を始める
- ・批評を書く際には、レビュアーが使うような言葉は避ける
- ・誰が読むのかを考える
- ・テーマを絞って批評する
- ・書く

例：『アメリ』

第一章 構図

フレーム：

『ミルドレッド・ピアース』	1945	マイケル・カーティス	アメリカ	英語
---------------	------	------------	------	----

タイトなフレームで、ミルドレッドの衝動が押さえつけられたことを描いている。

『捜索者』	1956	ジョン・フレード	アメリカ	英語
-------	------	----------	------	----

オープンなフレームで、自然に対する文明の脆弱さを表現。

要素の配置：

『女相続人』	1949	ウィリアム・ワイラー	アメリカ	英語
--------	------	------------	------	----

ある場面において画面上部にいる人物が、下に配置された人物よりも力を持っている。

『花様年華』	2000	ウオン・カーウアイ	中国香港	上海・広東語
--------	------	-----------	------	--------

「3分の1の法則」の例。見た目のバランスをデザインするほか、観客の感情移入を促す。

『エネミー・オブ・アメリカ』	1998	トニー・スコット	アメリカ	英語
----------------	------	----------	------	----

下部に配置することで感情移入を誘う。

『十二人の怒れる男』		シドニー・ルメット	アメリカ	英語
------------	--	-----------	------	----

陪審員八番の位置により、彼の正しさが表現されている。

人物の割合：

『その土曜日、7時58分』	2007	シドニー・ルメット	アメリカ	英語
---------------	------	-----------	------	----

多くの空間を占める人物が、他方の人物を支配している。

『スタンドアップ』	2005	ニキ・カーロ	アメリカ	英語
-----------	------	--------	------	----

フレームに占める人物の割合が小さいことで、主人公の無力感を強調している。

前景と背景：

『自転車泥棒』	1948	ヴィットリオ・デ・シーカ	イタリア	イタリア語
---------	------	--------------	------	-------

夫を背景に、妻を前景に置くことで、妻の徳性を強調している。

『その土曜日、7時58分』	2007	シドニー・ルメット	アメリカ	英語
---------------	------	-----------	------	----

ハンクがフレームの奥に移動することで、「消え去ってゆく」ことを表現した。

『波止場』	19	エリア・カザン	アメリカ	英語
-------	----	---------	------	----

ヒーローは背景にいるが、他の人物がみな彼に注目していることで、彼の道徳心を表している。

シンメトリ：

『ミルドレッド・ピアース』	19	マイケル・カーティス	アメリカ	英語
---------------	----	------------	------	----

シンメトリな構図により、秩序が回復したという感覚を観客に与える。

『フィラデルフィア物語』	19	ジョージ・キューカー	アメリカ	英語
--------------	----	------------	------	----

シンメトリな構図で、共同体を表現している。

『突撃』	1957	スタンリー・キューブリック	アメリカ	英語・ドイツ語
------	------	---------------	------	---------

軍事規律の厳格さ、融通の利かなさをシンメトリな構図で表現

フィルム・ノワール、アシンメトリ：

『ミルドレッド・ピアース』	19	マイケル・カーティス	アメリカ	英語
---------------	----	------------	------	----

アシンメトリな構図で支配的なジェンダー秩序に組み込まれたことを強調

シンメトリ、アシンメトリ：

『我等の生涯の最良の年』	19	ウィリアム・ワイラー	アメリカ	英語
--------------	----	------------	------	----

シンメトリとアシンメトリを組み合わせることで、対立を表現

『ヒストリー・オブ・バイオレンス』	2005	デヴィット・クローネンバーグ	カナダ・アメリカ	英語
-------------------	------	----------------	----------	----

家族はシンメトリ、ギャングが登場するシーンはアシンメトリで表現されている。

第一章まとめ

フレーム

- ・タイト ……押さえつけられる、窮屈
- ・ルーズ
- ・オープン

要素の配置

- ・上にいる人物…徳、立場が高い、
- ・下にいる人物…被支配

人物の割合

- ・大きい人物…支配的
- ・小さい人物…被支配、無力

前景と背景

- ・前景にいる人物…注目されるべき人物、強調
- ・背景にいる人物

シンメトリとアシンメトリ

- ・シンメトリ ……秩序、厳格さ、規律
- ・アシンメトリ…秩序の乱れ、対立

用語

ネオレアリズモ：

第二次世界大戦後のイタリア映画にあらわれた現実重視の傾向。

フィルム・ノワール：

フランス語で「暗黒映画」を意味し、日本ではフランスの犯罪映画を指す用語として使われることもあるが、ヨーロッパや英米圏の映画研究では、1941 年ごろから 58 年ぐらいの間にハリウッドで製作された、共通のモチーフ、演出スタイル、登場人物のタイプをもつ特定の犯罪映画、とりわけハードボイルド小説に影響を受けた映画を指す。

監督

アルフレッド・ヒッチコック (1899-1980) :

イギリス、ロンドン生まれ。映画史の古典期と「現代」期双方にまたがる映画作家。『快楽の園』、『レベッカ』アカデミー賞作品賞

ウィリアム・ワイラー (1902-1981) : ドイツ、ミュンヘン

ヴィットリオ・デ・シーカ (1901-1974) : イタリア、ラツィオ州

ウォン・カーウァイ (1958-) :

中国、上海生まれ。「香港ニュー・ウェイヴ」第二世代の監督のひとり。『いますぐ抱きしめたい』(88)、『ブエノスアイレス』(97)カンヌ国際映画祭・最優秀監督賞、『花様年華』カンヌ国際映画祭・最優秀男優賞、高等技術院賞

エリア・カザン (1909-2003) : オスマン帝国、イスタンブール

キャロル・リード (1906-1976) : イギリス、ロンドン

クエンティン・タランティーノ (1963-) : アメリカ、テネシー州

シドニー・ルメット (1924-2011) : アメリカ、フィラデルフィア

ジェームズ・キャメロン (1954-) : カナダ、オンタリオ州生まれ。1980年代以降のハリウッド有数のヒットメイカー。手がけた作品のほとんどが、膨大な予算を要した超大作である。82年デビュー。『ターミネーター』(84)、『エイリアン2』(86)、『アビス』(89)、『ターミネーター2』(91)、『タイタニック』(97)アカデミー監督賞

ジャド・アパトー (1967-) : アメリカ、ニューヨーク

ジャン＝ピエール・ジュネ (1953-) : フランス、ル・コトール

ジョージ・キューカー (1899-1983) : アメリカ、ニューヨーク州

ジョン・フレード

スタンリー・キューブリック (1928-99) :

アメリカ、ニューヨーク生まれ。『ロリータ』(62)以降はイギリスに移って製作をつづけた。
監督した長編作品は 46 年間で 13 本しかない。

デヴィット・クロネンバーグ (1943-) :

カナダ、トロント生まれ。人間のもろさと腐食を描く斬新なホラー映画を得意とする。『クラッシュ』(96)でカンヌ国際映画祭審査員特別賞を受賞。

トニー・ギルロイ (1956-) : アメリカ、ニューヨーク州

トニー・スコット (1944-2012) : イングランド、タイン・アンド・ウィア

ニキ・カーロ (1967-) : ニュージーランド、ウェリントン

ピーター・ジャクソン (1961-) :

ニュージーランド、プケルア・ベイ生まれ。『ブレインデッド』アヴォリアッツ国際ファンタスティック映画祭グランプリ、『乙女の祈り』ヴェネツィア国際映画祭銀獅子賞

ベルナルド・ベルトリッチ(1941-) :

イタリア、パルマ生まれ。1960 年代のポスト・ネオレアレズモを代表する監督のひとり。
『ラストエンペラー』(87)アカデミー作品賞

マイケル・カーティス (1888-1962) :

オーストラリア＝ハンガリー帝国、ブダペスト生まれ。本名はケルテス・ミハーイ。ハンガリー初の長編映画『ラスト・ボヘミアン』(12)で監督デビュー。『カサブランカ』(42)アカデミー監督賞

マーヴィン・ルロイ (1900-1987) : アメリカ、サンフランシスコ